様式第二十五号の七（第十七条の三十九関係）

資　格　者　証　再　交　付　申　請　書

令和　　年　　月　　日

国土交通大臣

殿

指定資格者証交付機関代表者

（写真）
資格者証用写真
１枚を全面のり
付けする。

縦3.0センチメートル
横2.4センチメートル

１．既資格者証　　交付番号　第　　号　　有効期限　令和　　年　　月　　日

２．申請者氏名　　フリガナ　　（氏　　名）
氏　名　　（旧姓）

３．生年月日　　元号　　年　　月　　日
（1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 5.令和）

４．本　　籍　　都道府県コード　　都・道・府・県

５．再交付の理由　　（１．忘失　２．滅失　３．汚損　４．破損）
理　由

６．監理技術者講習修了履歴（修了履歴がある場合のみ記載）

修了番号　第　　－　　号　　修了年月日　令和　　年　　月　　日

７．受付番号　　受付場所　　受付日　令和　　年　　月　　日

記載要領

1　太線の枠内には記入しないこと。

2　この申請書の□□□□で表示された枠(以下「カラム」という。)に記入する場合には、1カラム1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。

3　「既資格者証」の欄は、既に交付を受けている資格者証の交付番号及び有効期限を記入すること。

4　「申請者氏名」の欄における「フリガナ」のカラムには、申請者の氏名をカタカナで例えば|カ|ス|ミ|カ|゛|セ|キ|□|□|□|のように左詰めで記入すること。その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、資格者証に旧姓の併記を希望する場合は、「旧姓」の欄に旧姓を併記すること。

5　「生年月日」の欄における「元号」のカラムには該当するコードを記入すること。

6　「本籍」の欄は、本籍地の所在する都道府県名とその都道府県コードを記入すること。

　「都道府県コード」のカラムには、別表(三)の分類に従い該当するコードを記入すること。日本国籍を有しない者にあつては、その者の有する国籍とその該当するコードを別表(三)の分類に従い記入すること。

7　「再交付の理由」の欄においては、再交付を申請する理由に該当するコードをカラムに記入し、具体的な理由を記すこと。

8　「監理技術者講習修了履歴」の欄における「修了番号」のカラムには、過去5年以内の日の属する年の内に修了した監理技術者講習がある場合に限り記入すること。その際、過去5年以内の日の属する年の内に講習を複数回修了している場合にあつては、最新のものの修了番号を記入すること。